

国語

国語

[一]

(全員が解答) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(池上嘉彦「記号論への招待」による)

問一 傍線部 a、e のカタカナを漢字に直せ。

問二 空欄 (A) には漢字二字の語が入る。最も適切な熟語を自分で考え、解答欄に漢字で記せ。

問三 空欄 (X) (Y) (Z) にあてはまる最も適切な語を次のア～エから一つずつ選べ。

ア つまり      イ しかし      ウ さらに      エ また

問四 本文中には次の一文が脱落している。あてはめるのに最も適切な箇所を本文全体から探し、その直前の五字を解答欄に記せ。句読点も字数に入れる。以下、同じ。

「贈答はコミュニケーション」というお歳暮の頃の宣伝文句も、もちろん、その点を強調したいわけである。

問五 傍線部②「自分が頭の中に抱いている〈抽象的〉な広義の思考内容のコピーを相手の頭の中にも創り出す」とあるが、

同じ意味をあらわした部分を二十五字以上三十字以内で抜き出せ。

問六 傍線部①「贈答はコミュニケーション」とは、ここではどういうことか。五十字以内で説明せよ。

国語

国語

[二] (選択問題) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(山本益博「桂文案」一部改変による)

注 円朝 三遊亭円朝(一八三九〜一九〇〇)。幕末から明治期の落語家。

問一 傍線部①〜⑤のカタカナを漢字で記せ。

問二 空欄(a)(b)を補う語句として最も適当なものを、次の選択肢の中からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

- ア つまり
- イ または
- ウ もし
- エ だが
- オ なせなら

問三 空欄 I II に入れるのに、最も適当と思われる四字熟語を、次の選択肢の中からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

ア 当意即妙    イ 正確無比    ウ 得意満面    エ 渾然一体    オ 千変万化

問四 傍線部 A 「めくるめく」とあるが、このことばの意味を簡潔に説明せよ。

問五 問題文に次の文を補入する場合、本文中の (一) (五) のどこに入れるのが最も適当か。その番号を記せ。

・「明鳥」の幾本目の録音は、その芸の秘術に触れているように感じられた。

問六 傍線部 B 「嘶や芸に関する統一された意識なり思想」とあるが、具体的にどういうことか。問題文全体を踏まえて八十文字以内で説明せよ(ただし句読点を含む)。

[三] (選択問題) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

鳥羽法皇の女房に、小大進といふ歌詠みありけるが、待賢門院の御方に御衣一重失せたりけるを<sup>①</sup>負ひて、北野にこもりて祭文書きてまもられるに、三日といふに神水をうちこぼしたりければ、檢非違使、<sup>②</sup>「これに過ぎたる失やあるべき。出で給へ」と申しけるを、小大進泣く泣く申すやう、「<sup>③</sup>おほやけの中のわたくしと申すはこれなり。今三日のいとまをたべ。それにしるしなくは、われを具していで給へ」と、うち泣きて申しければ、檢非違使もあはれにおぼえてのべたりけるほどに、小大進、

A 思ひ出づやなき名たつ身はうかりきとあら人神になりし昔を

国語

国語

と詠みて、紅の薄様一重に書きて御宝殿に押したりける夜、法皇の御夢に、よにけ高くやむごとなき翁の、束帯にて、御枕に立ちて、「やや」とおどろかしまらせて、「われは、北野右近の馬場の神にて侍り。めでたきことの侍る、御使給はりて見せ候はん」と申し給ふとおぼしめして、うちおどろかせ給ひて、<sup>④</sup>「天神の見えさせ給へる。いかなる事のあるぞ。見て参れ」とて、「御殿の御馬に北面の者を乗せて馳せよ」と仰せられければ、<sup>⑤</sup>馳せまゐりて見るに、小大進はあめしづくと泣きて候ひけり。

御前に紅の薄様に書きたる歌を見てこれを取りて参るほどに、いまだ参り着かぬに、鳥羽殿の南殿の前に、かの失せたる御衣をかづきて、さきをば法師、あとをば敷島とて待賢門院の雑仕なるものかづきて、獅子を舞ひて参りたりこそ、天神のあらたに歌にめでさせ給ひたりけると、めでたくたふとく侍れ。則ち小大進をは召しけれども、「かかるともんかうを負ふも心わろきき者におぼしめすやうのあればこそ」とて、やがて仁和寺なる所にこもりあてけり。<sup>⑦</sup>「力をも入れずして」と、「古今集」の序に書かれたるは、これらのたぐひにや侍らん。

(二)「古今著聞集」による

注

御衣一重 お召し物一組。

北野 北野天満宮。菅原道真を祀る。

祭文 神へ訴え申すことば。

檢非違使 都の治安維持にあたった警察・檢察的役所の役人。

北面の者 院の御所の北面の詰所に伺候して警護にあたり、御幸に供奉した武士。

鳥羽殿 院の雜宮。

もんかう 嫌疑をかけられ、檢非違使庁の役人に監禁されること。

問一 傍線部①の現代語訳として最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ

ア 借りていて

イ 身につけていて

ウ 身に受けていて

エ 名として持っていて

問二 傍線部②について最も適した内容を次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 神水をこぼす以上の失態はないだろう

イ こもって祭文を書くのはできすぎたことであろう

ウ 大切なものを失ったという過ちをただちに改めることであろう

エ 厳しく見張らなかつたのは過ちであつた

問三 傍線部③の説明として最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 公的なことに私的な事情をさしはさむべきではないと考えること

イ 公的なことに情をさしはさむのは自分勝手であり罪を認めるまで許さないこと

ウ 公的なことでも場合によっては私的なこととなるため慎重に考えるべきであること

エ 公的なことでも場合によっては情けを加え、適当に厳しさを加減すること

問四 Aの和歌を贈った相手として最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ

ア 鳥羽法皇      イ 檢非違使      ウ 北野の神官      エ 北野右近馬場の神

問五 傍線部④を現代語訳せよ

国語

国語

問六 傍線部⑤・⑥の主語をそれぞれ次の選択肢から選び、その記号を記せ。

⑤

ア 檢非違使      イ 小大進      ウ 鳥羽法皇      エ 待賢門院

⑥

ア 小大進      イ 敷島      ウ 待賢門院の雑仕      エ 北面の者

問七 傍線部⑦とはどのようなことか具体的に説明せよ。

問八 「古今著聞集」と同じジャンルの作品を次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 無名草子      イ 方丈記      ウ 山家集      エ 宇治拾遺物語      オ とはすがたり